

## バイオクライマティックデザイン小委員会 第5回議事録

日時：2011年1月20日 17:00～19:00

場所：建築学会会議室

出席者：

加藤（台湾・淡江大学）、北瀬（環デザイン舎）、斉藤（札幌市立大学）、鈴木（東京都市大学）、築山（旭化成ホームズ）、廣谷（エコエナジーラボ）、長谷川（秋田県立大学）、深澤（神奈川大学）、宇野（電中研）

マブルック（台湾・淡江大学・チャド）

資料確認：

資料 10-5-1 議事次第

資料 10-5-2 第4回委員会議事録

資料 10-5-3 第41回熱シンポジウム案

資料 10-5-4 小委員会設置申請書

資料 10-5-5 2011年度委員会活動計画案

議事内容：

議題0

出版本について（表紙の検討）

自由意見

- ・環境工学と設計。写真と図面をレイアウト。（「窓」の思想）。
- ・図面と写真を混在すると、美しくない。
- ・本を代表する挿絵が良いのでは。
- ・教科書っぽくする必要はない。

議題1 議事録確認

- ・承認された。

議題2 出版WGについて

- ・出版は来年度（4月か5月）を予定。出版企画刊行委員会（親委員会）で、承認を得る必要があり、次回の親委員会（2月18日）に承認を得る予定。来年度計画書を提出済み。
- ・親委員会では、学会の酒井さんに出版の内容を説明していただく。
- ・出版のスケジュールについては、神中さんから、親委員会前に酒井さんへ説明。
- ・出版は、4月もしくは5月の予定。

### 議題3 熱シンポジウム企画について (資料 10-5-3)

開催日時 (確定)

- ・10月28日(金)、29日(土) (懇親会 28日札幌市内)
- ・10月30日 (オプションツアー)

場所 (確定)

- ・札幌市立大学 (札幌市南区芸術の森)

セッション1 バイオクライマティック建築の位置づけ

セッション2 出版に至る経緯 (みつける)

セッション3 事例紹介 (つくる)

セッション4 北海道と東北地域での事例 (みつける)

セッション5 北海道と東北地域での事例 (つくる)

セッション6 評価方法

セッション7 総合討論

(斉藤:説明)

寒冷地域のバイオクライマティックデザインは、断熱・気密が主で手法が限られる。閉じる技術がメインとなるが、閉じる技術から開く技術に向かっている。

最近、北海道に特化した技術として、閉じる技術を持ちつつ開くことができるものが出てきており、使い方によってオーバーヒートなどの問題が起こっている。

温暖地、暑熱地の話は、パネルディスカッションで取り上げるのはどうか。

(全体)

- ・温暖地の話、海外の話はどうするか?温暖地の事例があった方が良い。
- ・北海道と東北が共有する断熱などに付随する問題 (たとえば、北海道の夏は暑い。断熱が増えすぎて、熱が逃げないなど) を議論する。
- ・ミサワは、北海道の断熱気密を進めているが、その結果を温暖地に適応するにはどうするのかという話題は出来るか?旭川から亀山へ。(栗原さん)
- ・「雪国のくらし」から、北海道、東北の屋根の違いを説明するのも、バイオクライマティックでいい。
- ・セッション2、3とセッション4、5を入れ替える。

(セッション6について)

- ・「つかう」バイオクライマティック建築
- ・工務店の方からの話題提供。高断熱住宅の問題。維持管理など。
- ・このセッションは、ディスカッションにつなぐセッションにしたい。
- ・話題としては、ライフスタイル。住んでいる人。住みこなし。HEMS。
- ・居住実験、省エネハウス。前研。LCCM で発表していた東大の方。

- ・設計に住みこなしをどう反映できるかが問題だろう（小泉先生がよくおっしゃっている）。手法はデータベース化されているか、住まい手によっていろいろと変わる。設計の段階で、住まい手の住みこなしをどの程度読めるのか？
- ・青森で、全く同じ住宅に住んでいる 2 世帯がある。エネルギー消費量が違う。住まい方、意識、環境が全く違うのでおもしろい（長谷川）。
- ・徳島県エコハウス。省エネ住宅。町営住宅。
- ・省エネと快適性は両立するという方向へ。

（加藤先生からの）コメント

- ・バイオクライマティックの多様性は、暑い地域に多様な建築がみられる。寒い側は、限られる気がする。寒冷地に特化した建築とすると、わかりやすい。台湾は、夏は暑く、冬多湿な環境（北回帰線上にある）。暑いところについて語れる人がいれば、良いのだが。
- ・寒冷地に特化する場合は、タイトルに「寒冷地であること」を盛り込んだ方が良い。
- ・バイオクライマティック建築は、素朴なものとして認識している。
- ・台湾の花博で、PET ボトルを原料にした材料の建築が出ているが、デザインとしてはすばらしいが、金、エネルギーが使われている。
- ・Dr バルコム氏は、建築はデザインが良くないといけないと主張。（ノーベル賞候補）
- ・ジェフリークック（アリゾナ大学）がバイオクライマティックアーキテックを書いている。屋根の向きを太陽の位置に合わせる。
- ・台湾の方が暑さに弱い。北海道の人も熱に弱い。

#### 議題 4 来年度の予定

- ・熱シンポの企画実行
- ・設計者の方への WS。
- ・コンペの参加の前段階。
- ・学会に作品発表が出ているが、意匠設計の方に、アピールする。
- ・設計協議のコンペ。

次回バイオ小委員会；

2011 年 2 月 22 日（火）（17:00～19:00） → キャンセル

次回出版小委員会；

2011 年 2 月 22 日（火）（15:00～17:00） → キャンセル